

小学校入学にむけて

幼児期は、人としての感情が芽生え始め、いろいろな力が伸びる大切な時期です。
この時期、家族の中での子どもへのかかわり方が、これからの成長に特に重要となってきます。

1. 「子どものありのまま」を受け入れよう

子どもが生まれてくることはすばらしいことです。宝物である子どもを慈しみ、かわいがって育てることは、人生において重要な仕事であり、大きな喜びです。

「生まれてきてくれてありがとう」「大好きだよ」という気持ちで、子どもがここに存在していることを喜び、子ども全部を好きになる、つまり子どもをありのまま受け入れることから子育てが始まります。そして、コミュニケーション力、つまり伝え合う力やかかわり合う力を育て、子どもとの信頼関係をつくっていきましょう。

心のコミュニケーション

(うなずく、ほほえむ、共感する 等)

体のコミュニケーション

(抱っこする、おんぶする、手をつなく、触れる 等)

言葉のコミュニケーション

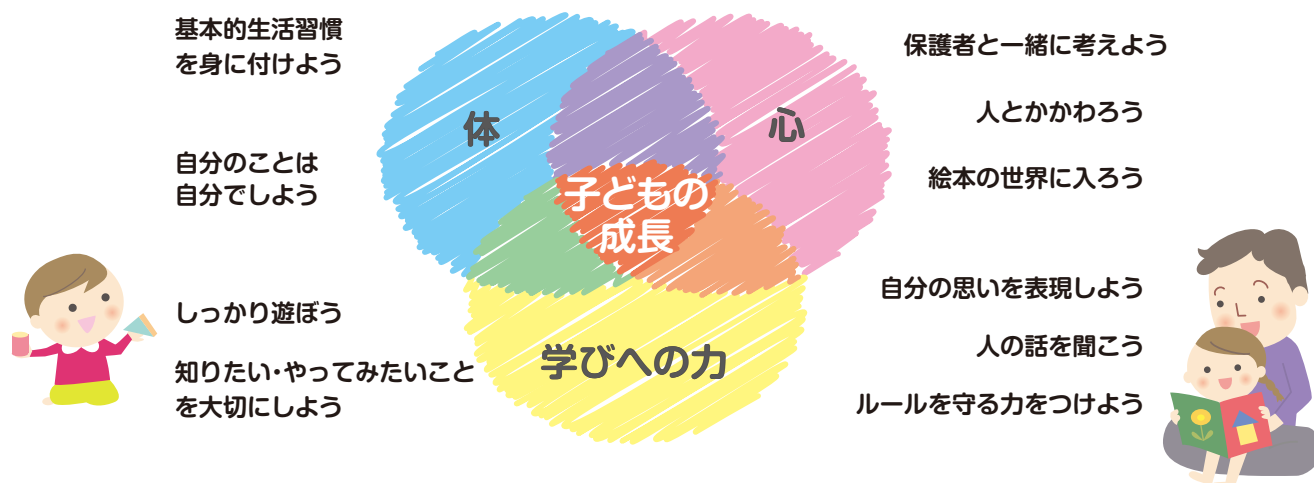
(あいさつをする、話を聞く、気持ちを伝える、ほめる、注意する 等)



2. 育てよう「心」 つくろう「体」 つけよう「学びへの力」

言葉や道具の使い方、ルールやマナー等、幼児期は家庭で学んでいくことがたくさんあります。何度も繰り返し教える、ゆったりとできるまで待つ、一緒に考える等、**子どもとともに取り組もうとする姿勢**が大切です。
また、**年齢が低い子どもほど「ふれあったり、かかわり**

あったりする」ことが大切です。一度に多くのこと、すべてのことが正確にできなくても気にすることはありません。ゆっくり話しかけたり、最後まで子どもの話を聞いたりすることで、子どもが安心し、落ち着いて過ごせるようにしましょう。



子どもは大人の影響を受け、大人の姿をみて育ちます。
保護者がよい手本を見せることが大切です。

妊娠に
関すること

出産されたに
皆さんに

あなたの子育て
に
応援します

子育てを
楽しみたいよう

小学校
入学にむけて

子どもの安全と
緊急時のこと

外国人の方の
ために
日本語を
使おう

1. 育てよう「心」

子育ては、子どもだけでなく保護者自身をも成長させてくれます。日々の生活の中に新しい発見や出会いがあります。子どもと過ごす時間はゆったりとかかわり、子育てを楽しみましょう。

「今日できなくても、明日がある」
「今できなくても、いずれできる」



「思いやりの心」や「感動する心」、「知的好奇心」を育てよう

- ① 保護者と一緒に、人とかかわりに関心をもとう
(あいさつをする、一緒にあそぶ、「ありがとう」や「ごめんなさい」を言う、「どうして」「なぜ」を一緒に考える、気持ちを表す言葉を知る)
- ② 保護者と一緒に、感動体験をもとう (子どもに声をかける)
- ③ 保護者と一緒に、絵本の世界に入ろう (読み聞かせをする)



2. つくろう「体」

- ① 基本的生活習慣をつけよう ●早寝 ●早起き ●朝ごはん
日々の生活のリズムを正しくつけることです。
規則正しく安定した生活リズムは、心や体を健やかに成長させてくれます。



- ② 自分のことは自分でしよう
あせらず、じっくり、時間をかけて、うまくできなくても、一人でやるのが大切です。
言葉かけをしたり、できたときはほめたりしてあげましょう。

3. つけよう「学びへの力」

子どもは自分のまわりの環境や事象に興味や関心を持ち、「不思議」「あれ？なんだろう」という好奇心や発見から、「知りたい」「やってみたい」と思ってきます。この気づきや好奇心をもつことから、子どもはいろいろな感覚を通して試し、「もっと」という意欲や探求心が出てきます。その繰り返しの中で、考えたり、大人にたずねたりすることが「学びへの力」につながっていきます。



- ① いっぱい遊ぼう
・遊ぶことは人とかかわる力や学びへの力の基礎となります。
- ② 「知りたい」「やってみたい」気持ちを大切にしよう
・「わかった」「できた」ときの喜びや楽しさを体感する経験を多く積んでいきましょう。
- ③ 自分の思いを伝えよう
- ④ 周りの人の話を聞こう
- ⑤ ルールを守る力をつけよう
・順番を待つ。・がまんする。
・やってはいけないことと良いことの区別をつける。



3.保護者の役割

元気に、本気で、根気強く、子育てしましょう。

1. 子どもとの関わりで大切なこと

- ① はげましながら、多様な体験と一緒にしましょう。
- ② ほめること・しかること
 - ・がんばってできたことはしっかりほめましょう。
 - ・しかるべきときはきちんとしかり、正しいこととよくないことをしっかりと教えましょう。
 - ・一度に一つのことだけをしかるようにしましょう。
 - ・ほめるとき、しかるときに、きょうだいや他の子と比べないようにしましょう。
- ③ 子どもは大人の姿から
 - ・保護者が見本を示しましょう。

2. みんなでつながろう

「おたがいさま」の気持ちをもって、みんなでかかわりあうことが大切です。

3. 地域・社会とかかわろう

子どもは家庭で育ち、地域で伸びます。地域行事等に参加しましょう。

4. 子どもに夢や希望をもたせよう

入学は、夢や希望に満ちた新しいステップです。しかし、初めてのことに不安や心配も多いことでしょう。子どもが入学をわくわくする気持ちでむかえられるよう「小学校は楽しいところ」ということを伝えましょう。

4. さあ、小学生になったら

小学生になれば 次の約束を守っていきましょう。

7のつく日は
7つのやくそくデー

「家での7つのやくそく」

今日は
どうだった
かな？



あしたもがんばるよ

- ・早寝・早起きの習慣をつけましょう
- ・朝ごはんを毎日食べましょう
- ・家族との対話を大切にしましょう
- ・学校にもっていくものを前日にたしかめましょう
- ・宿題など自分から進んで勉強しましょう
- ・テレビやゲームの時間を決めましょう
- ・本を読む時間をつくりましょう

毎日の生活を家庭で
一緒にふりかえり、話し合しましょう。

入学までに

10月頃に就学時健康診断票、1月中に就学通知書、入学説明会の案内などが各家庭に郵送されます。詳しくは、堺市ホームページ「入園・入学」をご覧ください。下記窓口までお問い合わせください。

問合せ ▶

入学手続きに関すること ▶ 学務課

就学時健康診断に関すること ▶ 学校保健体育課

就学援助制度など

公立の小(中)学校に就学させるのに経済的な理由でお困りの方に、就学に必要な費用の一部を援助する制度です。認定にあたっては所得基準があります。

また、支給費目のうち、入学準備金の早期支給を実施しています。

なお、支援学級等の在籍者を対象に「支援学級等就学奨励費」の制度もあります。詳しくは、堺市ホームページ「就学援助」または「支援学級等就学奨励費」をご覧ください。

問合せ ▶ 学務課



放課後児童対策等事業(のびのびルーム、堺っ子くらぶ、放課後ルーム)

放課後等における児童の健全な育成と子育て支援を図るため、小学校の放課後に活動が可能な教室等を活用して、小学生の児童を対象に、主に集団による遊びやスポーツ活動等を行う放課後児童対策等事業を実施しています(事業は校区によって異なります)。

問合せ ▶ 放課後子ども支援課

妊娠に
関すること



出産されたに
皆さんに



あなたの子育て
に
応援します



子育てを
楽しみたいよう



小学校
入学にむけて



子どもの安全と
緊急時のこと



外国人の方の
ために

